



期間 令和5年1月19日(木)～2月16日(木) [全5回]

実施場所 九州国際大学地域連携センター(サテライトキャンパス)
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 (35ページアクセス参照)

申込・問合せ先 九州国際大学地域連携センター
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3
TEL:631-2203 FAX:631-2204

時間 18:30～20:30

スポット受講
詳細は2ページ
料金
1,000円/回
2回限り

応募締切

1月5日(木)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 20名

受講料 4,000円

受講生への
メッセージ

実施機関：九州国際大学地域連携センター

本年4月から、高校での歴史教育は、従来の世界史A・日本史A(選択)から「歴史総合」(必修)に変わりました。学習指導要領によると、「歴史総合」は、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を修得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察します。近現代史の「新しい考え方」がどのようなものか、教科書によって具体的に考えます。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	1/19 (木)	「歴史総合」が始まる 「歴史総合」は、どのような経緯で生まれたか。従来の近現代史教育とどのように異なるかということについて、教科書(山川出版版)などによって概括的に検討します。	九州国際大学 名誉教授 清水 憲一 1948年島根県生。立命館大学大学院を経て九州国際大学。講義は経済史・教職日本史など、主研究は官営時代の八幡製鐵所。九州国際大学名誉教授。九州国際大学長、文化庁世界文化遺産特別委員、「新修北九州市史」編集委員などを歴任。
2	1/26 (木)	どう変わる(1): 明治維新 旧来の教科書との違いを具体的に検討し、明治維新の捉え方の変遷についても整理します。	
3	2/2 (木)	どう変わる(2): 産業革命 旧来の教科書との違いを具体的に検討するとともに、産業革命をどのように捉えるかについて考えます。	
4	2/9 (木)	どう変わる(3): 大衆社会の形成 1920年代のモダンについて、旧来の教科書との違いを具体的に検討します。普通選挙制度のもつ意義について、とくに留意します。	
5	2/16 (木)	小括: 歴史の見方をどう考える 3つの「化」で近現代史を総括することをどのように考えるか。また「近代から現代へ」という場合、近代と現代をどのように時期区分するか、などについて検討します。	